

下水道事業会計

下水道事業収入の推移

(単位:千円)

項目		平成26年度 決算	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 当初予算	平成30年度 当初予算	前年度増減
下水道事業収入							
	下水道使用料	6,201,019	6,225,193	6,204,116	6,040,169	6,103,223	63,054
	雨水処理負担金	4,060,988	4,031,411	4,021,344	3,986,995	3,978,525	△ 8,470

都市整備局

下水道事業会計

尼崎市の下水道	下水道事業着手時期	昭和 28 年
	下水道の人口普及率	99.9%
	下水道整備面積	4,054ha
	市内の管網総延長	1,068 km
	処理場・ポンプ場	東部浄化センター(西松島町 32) 供用開始：昭和 57 年 北部浄化センター(東園田町 7-82) 供用開始：昭和 57 年 9 ポンプ場 供用開始：昭和 38 年～平成 13 年
取 組 事 業	下水道施設の改築更新	
	浸水対策	
	地震対策	
	高度処理の推進	
	その他流域下水道整備等	

(1) 公共下水道整備事業費

846,984

管きょ、ポンプ場、処理場の新設及び機能向上に係る事業費

(475,121)

〔浸水対策〕

大雨による浸水被害の軽減を図るため、浸水対策を行う。

- ・ 雨水貯留管整備（武庫川処理区）
- ・ 雨水浸透管整備（北部処理区）

〔地震対策〕

地震時における下水道の基本的機能を確保するため、地震対策等に取り組む。

- ・ マンホールトイレ整備

〔高度処理の推進〕

大阪湾の水質改善を図るため、富栄養化の原因である窒素及びリンを減らす高度処理を進める。

- ・ 東部浄化センター 1 系水処理施設の高度処理化



雨水浸透管建設工事



東部浄化センター

供用開始：昭和 57 年

(2) 流域下水道整備事業費

78,478

2 以上の市町にまたがる区域を兵庫県が事業主体となって効率的、経済的に運営を行う流域下水道の整備・改築事業に係る負担金

(145,683)

施行主体 兵庫県

関係都市 尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市

事業費 840,509 千円

関係都市間の尼崎市負担割合

管きょ、ポンプ場 48.5%

処理場 44.7%



武庫川下流浄化センター

供用開始：昭和 51 年

(3) **施設改良事業費**

5,375,446

管きょ、ポンプ場、処理場の改築・更新に係る事業費

(4,749,678)

〔下水道施設の改築更新〕

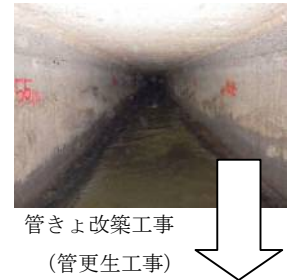
経年劣化による機能低下に対応するため、計画的な改築・更新を進め、下水道機能を維持する。

(管きょ)

- ・ 市内一円管更生工事 等

(設 備)

- ・ 北部・東部浄化センター、栗山・尾浜・富松・大庄・中在家・西川の6ポンプ場の設備改築



管きょ改築工事
(管更生工事)

〔浸水対策〕

大雨による浸水被害の軽減を図るため、浸水対策を行う。

(管きょ)

- ・ 市内一円人孔蓋取替工事

(設 備)

- ・ ポンプ場における雨水ポンプ能力の増強
(大庄・中在家中継ポンプ場)



大庄中継ポンプ場
改築予定雨水ポンプ
供用開始：昭和43年

〔地震対策〕

地震時における下水道の基本的機能を確保するため、地震対策等に取り組む。

- ・ 処理場・ポンプ場における建物の耐震補強
(大庄・中在家中継ポンプ場)

〔高度処理の推進〕

- ・ 東部浄化センター1系水処理施設の高度処理化

(4) **雨水貯留タンク設置助成金交付事業費**

1,200

雨水の流出抑制及び水資源の有効利用に資するため、

(1,200)

雨水貯留タンクを設置しようとする者に対して助成金を交付する。